



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2024/04/23

あっさり黙示録 #77
新しいエルサレムへの入場資格
黙示録 21 章

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。今日は**あっさり黙示録**の第 77 回目！

今日は**黙示録 21 章**の最後のところをお話しします。

ところで、私は 4 月 6 日土曜日、長野県佐久市にある「さやか星（ぼし）小学校」開校記念式で、聖書のお話をたっぷり 60 分させていただきました。

I 部と II 部があって、II 部の頭で講演したんですが、理事長の奥田健次さんのたっでの願いが「死について語ってください」

開校記念ですよ！「めでたい時に、なんで死なんですか」「どんなに優れた教育でも、死を解決することはできません。しかし、クリスチャンには、そして聖書には、死の解決があります。イエス・キリストは死を解決された方ですよ。ズバリ語っていただいて結構です」

さやか星小学校には国会議員だけでも 5 人が挨拶に来られ、それ以外に佐久市長や御代田（みよた）町長など、政治家や顔役の方が色々お越しになって、それぞれ素晴らしい挨拶をされていました。

私の話は II 部の頭です。I 部が終わった時、5 人の国会議員のうち 3 人は東京に帰りました。だって、忙しいもん。地元にも色々お仕事があるでしょう。でも、2 人残ってくださったんですね。

後でお一人が個人的にスーツと寄って来られて、言ってくださったんです。

「高原さんのお話に感銘を受けました。実は、私の母と兄はクリスチャンでした。兄はコロナで突然亡くなったんです。霊安室に安置されているのを見た時、あまりにもかわいそうで、一晩付き添うと言ったら、母が『そんなことしなくていい。お兄さんはここにいるんじゃない。これはお兄さんの魂が住んでいた肉体にすぎない。お兄さんはもっと良いところ、イエス・キリストのところに行っているから大丈夫なんだ』と。私は兄を失った弟として寂しかったけど、息子を失った母はもっと大きな喪失感があるに違いない。にも拘らず、それを乗り越えさせる天の希望があることを目の当たりにして、クリスチャンで強いなあと思いました」

その望みというのは天国の实在性です。今**黙示録**で話しているのは、信じている人たちが最後に行く新しい天と新しい地の首都、新しいエルサレムについての記録なんです。ヨハネはそれを幻で見て、語ってくれています。

今日は 21 章の締めくくりの部分を一緒に見ましょう。

黙示録 21 章 25～27 節

都の門は一日中、決して閉じられない。そこには夜がないからである。

こうして人々は、諸国の民の栄光と誉れを都に携えて来ることになる。しかし、すべての汚れたもの、また忌まわしいことや偽りを行う者は、決して都に入れない。入ることができるのは、子羊のいのちの書に記されている者たちだけである。

ここから3つのポイントでお話しします。

ポイント 1. 新天新地には夜が無い。

そこには夜がないからである。

新天新地はずっと昼なんですわ。「えっ！寝られへんの？」

あのね、寝えへんかったら疲れるのは、肉体を持っているからですよ。

新天新地に入る時には、入るのにふさわしい肉体—病まない・老いない・疲れない・死なない、栄光の体になってるんです。

御使いたちが24時間ノンストップで働いても全然疲れないように、新しい体を持っているクリスチャンたちは、「疲れた」「腰が痛い」「前立腺が…」とか、そんな話は一切無いということなんですわね。

私、時々思うことがあるんですよ。「高原さん、色々忙しいし、負荷が掛かるし、仕事も大変だけど、天国行ったらなんぼでも休めますから、この地上で頑張っつてね！」と声かける人いるんですけど、それちょっとちやいますよ。

天国って休まなくてもオクケーの世界なんです。疲れない体を持ってるんですから。休まないとダメなのは今なんです。地上に生きている今こそ、休むべき時にちゃんと休まない、無理が利かなくなりますよ。

6日働いて1日休む。これは神様が定めたリズムなんですわね。

私も昨年声が出なくなってきた以来、週に1日はオフの日をつくるようにしたのですが、いいですねえ。はじめはオフの日に何も仕事しないということが「うろうろ…仕事させてくれ〜！」と禁断症状。どれだけワーカーホリックか、よく分かりました。なぜそんなにワーカーホリックだったのか。

自分が何とかしないと成し遂げられないと思っていたからです。

でも、イエス・キリストの生涯を考えるとどうでしょう。

キリストは30歳になるまで一切、メシアとしての仕事をしませんでした。

3年半の公生涯の中でたくさんの町や村に行き、病気を治し、悪霊を追い出し、多くのメッセージをして、困っている人たちを助けたんです。

これ、3年半じゃなくて4年半だったら、もっと多くの人たちが助かったんじゃないですか。30歳でデビューするんじゃなくて29歳でスタートしてたら、もっと多くの人たちが助かったんじゃないですか。キリストはそれをしないんですよ。

神がゴーサインを出されるまではしない。神のみこころに従って動くことが、長い目で見た時に、最も実りある道だとしてご存知だったからです。

私も何が何でも力でごり押しして行くことは間違いだとようやく分かったので、6日働いて1日休むことを鉄則にしたいと思います。皆さんにもすぐくお勧めしたいと思うんですわね。どうぞ無理のないようになさってください。

ただし7日休めとは書いてないので、そこ間違わないようによろしくお願いします。

ポイント 2. 呪われるべきものや呪うものが何も無い。

都の門は一日中、決して閉じられない。

これは、呪われるべきものや呪うものが何も無いということです。

創世記 3 章に、神が罪を犯したアダムとエバをエデンの園から追放するという記事があります。追放後、神があるものをエデンの園の入り口に設置するんですね。

創世記 3 章

24 こうして神は人（アダムとエバ）を追放し、いのちの木への道を守るために、ケルビムと、輪を描いて回る炎の剣をエデンの園の東に置かれた。

ケルビムは最も位の高い御使いであるケルブの複数形。一番権威のある御使いたちを見張り番に置いた。輪を描いて回る炎の剣は神の栄光シェキナーのこと。つまり、だれでもケルビムを突破していのちの木の道に行こうとするなら、たちどころに剣が振り下ろされて討たれてしまう。命を取られてしまう。一巻の終わり。罪を持ったままいのちの木を得ないように、神はここでストップを掛けてくださったんですね。いのちの木は新しいエルサレムの中にあるんです。

エデンの園には閉じているものが2つありました。ケルビムと炎の剣。

しかし、都の門は一日中、決して閉じられない。

新しい都は出入り自由。立ち入り禁止を命じるもの、妨げるものは一切無し。

いつでもどんな人でも、自由に近づくことができる。都に入ることができる。

呪うもの、呪われるものが何も無い世界が、新しいエルサレムの特徴なんですよ。

ポイント 3. 子羊のいのちの書に記されている者

しかし、すべての汚れたもの、また忌まわしいことや偽りを行う者は、決して都に入れない。入ることができるのは、子羊のいのちの書に記されている者たちだけである。

新天新地に入るのは、子羊のいのちの書に名前が記されている人たちだけ。

では、まだキリストを信じていない人、子羊のいのちの書に名前が記されていない人はどうしたらいいでしょう。

子羊のいのちを頂くことによって、名前を書いてもらえるんです。

子羊のいのちはどこで献げられましたか。十字架の上です。

あなたの罪の身代わりになって、十字架で裁きを受けてくださいました。

私を大変懇意にしてくださったクリスチャンがいました。

私よりも7つくらい年上の方でしたが、ALSという病気になりました。

全身の筋肉がどんどん衰えて行くのですが、意識や痛みは完全に正気のまま。

日々弱くなっていく中で、愚痴一つ言わなかったですねえ。

全国色んな所に招かれて聖書の話をしていたのですが、ALSが発症した後、彼のところに全国から人々が殺到して、人生相談や質問をしていました。

私は彼が牧会していた集会から毎年一回、特別集会のメッセンジャーとして招かれていたので、毎年お話しできてたんですが、段々パソコンや携帯の文字でやり取りするようになり、彼の召天記念式では、私がメッセージさせていただいたんです。

まだ自由にお話しできた時のお話を覚えています。

彼が小学生の時、近くに池があって、小学2年生くらいの男の子が足を滑らせて溺れたんです。泳げなかったようです。みんな「ああっ！」と言ってるばかりで何もできない中、彼のお父さんが池に飛び込んで、少年を助け出すことに成功しました。

ところが、助け出した後、このお父さんが脳溢血で亡くなったんです。母子家庭になってしまいました。お父さんが生きていたら、多分経済面の心配はなかったでしょう。

そんなことがあったので、手に職を付けたい。できるだけ学費が安いところに行きたい。それで群馬県の高専に進学し、アメリカから来られた非常に宣教熱心な伝道師と劇的な出会いがあって、キリストの福音を聞いたんですね。

「あなたの罪のために、キリストが身代わりになって死んでくださったんですよ。あなたは自分で自分を救うことはできない。あなたを赦すことができるのは、権威ある神だけ。神がその権威を発揮するためには、あなたの罪の赦しの代価がどうしても必要で、それをイエス・キリストが引き受けてくださったんです」

それを信じることに初めは躊躇しましたが、「身代わり」という言葉を聞いた時、思わずお父さんのことを思い出しました。一人の少年が助かったことは喜ばしい。だけど、お父さん亡き後の家族の気持ちはどうだったか。本当に寂しかったんですよ。一番必要な時にお父さんがいなくなるなんて。でも、あの少年が助かったことは、ある意味慰めでもあるんです。

イエス・キリストが十字架の上で死んでくださった時、父である神はどんなお気持ちだっただろう。お父さんと重ねて考えた時、十字架で苦しかったのはキリストだけでない。父である神も苦しんでおられた。そんなに苦しんででも、私を赦したいと願われた。ここまで大きな犠牲を払ってくださったキリストを拒む理由が一番必要な時にあるのか。彼はもう拒めなくて、イエス・キリストを信じました。

あなたのために十字架に掛かって死んでくださった方、墓に葬られた方、よみがえった方。この方を信じることで、**子羊のいのちの書に名前が記される**のです。ごうちゃんねるを見てくださっているあなたはどうですか。クリスチャンになられましたか。もしまだなら、ぜひイエス・キリストを信じてください。素晴らしい新天新地に、新しいエルサレムに、共に行こうではありませんか。心からお勧めします。

チャンネル登録といいねボタンもお願いします。ではまた、ごうちゃんねるでお会いしましょう。お元気でいらしてください。さよなら！

—❀-----❀-----❀-----❀-----❀-----❀-----❀-----❀-----❀-----❀-----

☆引用；日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社,2017